

令和4年度 小平市立花小金井南中学校

第44回 卒業式 校長式辞

今週になって東京都の桜開花宣言がありました。寒さも徐々に和らぎ、春の訪れを感じるところとなりました。

169名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

保護者の皆様、お子様はここに9年間の義務教育の全課程が修了いたします。感慨もひとしおのことと存じます。お子様のご卒業心よりお祝い申し上げます。

また、本日は御多用のところ、小平市市長小林洋子（こばやしようこ）様はじめ、多数のご来賓の皆様にご参列いただき、まことにありがとうございます。高いところからではございますが、厚く御礼申し上げます。

さて、卒業生の皆さんとは、青空のもとで行われた入学式で出会ってから3年間、学校生活を共に過ごしてきました。花小金井南中学校の校長として着任したばかりだった私にとって、皆さんと過ごした3年間はとても思い出深く、そして忘れられない時間となりました。

中学入学を前にして、小学校6年生最後の1ヵ月が突然、臨時休業となり、中学校に入学した皆さんを待っていたのは、さらに2か月間の臨時休業の延長でした。楽しみにしていた中学校生活が、自宅学習からのスタートとなりました。

分散登校などを経て、臨時休業が終わり、生徒の皆さんに「臨時休業で身に付けた力」について話をしました。覚えていますか？

これまでの多くの学習は、先生などに教えてもらうことからスタートしていましたが、臨時休業中は、与えられた課題について、まだ教えてもらっていないことに取り組むことから「まず、自分の力で考える」ことから学習がスタートしたはずです。自分の力で考えたあと、授業等でその課題について振り返り、その結果として、これまで以上に考えが深まったり、学習が定着したりしたと思います。皆さんはこの臨時休業で自分でも気が付かないうちにそんな力を身に付けているのです。と伝えました。当時1年生だった皆さんには少しレベルの高い話だったと思いましたが、この中のある生徒が、その話の後に「校長先生の言葉を聞いて自分も同じことを感じました」と作文に書いてくれていることを知らされて、とても嬉しかったことを覚えています。この3年間、「まず自分の力で考える」ということからスタートした皆さんは、その後、様々な事柄について、「自分事として考えること」そして自ら課題を見つけて「主体的に取り組むこと」などを意識するようになっていきました。これからの未来を担う皆さんが頼もしく大きく成長したと感じます。

3年間の学校生活は感染症拡大防止の対策と共に歩んできました。皆さんが1年生の頃は、感染が心配されるような活動は「中止を前提に」という状況でした。そのような困難な状況でありながらも、生徒の皆さんが常に「今できることに感謝する」という気持ちをもってしてくれたことは、私たち先生たちの大きな励みになりました。

2年生になる頃には、その時の感染状況を見て、「できることをできる範囲で実施する」という発想に社会が徐々に変化していきました。

私にとって、思い出深いのは2年生の時に実施した鎌倉校外学習です。この時のスローガンは「起承転結」でした。行事のスローガンは多くの場合、その行事に向けて生徒の皆さんの気持ちをひとつにしてい

こうという思いを込めて考えます。しかし、このスローガンは、鎌倉校外学習ひとつを成功させるためではなく、1年前の川越校外学習から、スキー移動教室、修学旅行という校外での学習を通じて自分たちが3年間かけて成長していこうという気持ちが込められているものでした。まだコロナ禍で、この先にどのような困難が待っているかわからない中で、3年間を見通した目標を掲げていることに驚かされました。また、このころの実行委員さんからは、「先生たちが自分たちのことを信じて任せてくれている。その期待に応えたい。だからこそ自分たちの力で学年の行事を成功させたい。」という生徒の皆さんと先生たちの信頼関係を感じるようになりました。その後の修学旅行などを経て、卒業を迎えた今、さらに強く結びついているように感じます。

3年生になった今年度は全校で多くの活動ができるようになりました。最高学年として学年の行事に留まらず、リーダーシップを発揮して学校を盛り上げてくれました。運動会や合唱コンクールでは、取り組む姿勢から、当日の競技や発表まで常に後輩に見本を示してくれました。今できることに対して全力で取り組み、花南中の新たな伝統を創り出してくれた皆さんを心から誇りに思い、感謝しています。

特別支援学級7組の皆さんもこの3年間、自分の苦手なことに向き合い、努力を積み重ねてきました。1年生の頃、気持ちのコントロールが難しく、校長室に来て話をするようなことが何回か続いていくうちに、いつしか昼休みの校長室は7組の皆さんの憩いの場所ようになっていました。3年生になるころには、気持ちのコントロールも上手にできるようになっていましたね。校長室で7組の皆さんとたくさん時間を過ごし、成長を近くで見ることができたことはとても幸せなことでした。数学や漢字の勉強を一緒にしながらたくさん話をしたことは、忘れられない思い出となりました。

この3年間、いくつもの困難な状況乗り越えて今日を迎えている皆さんは、当たり前とっていたことをこれまで以上に大切にできる人となっています。それだけではなく、できないことをただ嘆くのではなく、この状況で何ができるのか、どうしたら前に進めるのか、自分で考えて行動するという力が身に付いています。中学校3年間で身に付けたこのような気持ちや力に自信をもって、これから始まる新たな生活に踏み出して行ってください。

最後に、卒業生の皆さん、これからの人生は順調にいかないこともあると思います。それでも皆さんは一人ではありません。さまざまな困難に直面した時、まずは自分で考えることが必要ですが、それでも苦しいときは周りを見渡してみてください。きっと力になってくれる人がいます。そんな時は決して無理をせず、周りの人と力を合わせてその困難を乗り越えてください。きっと大丈夫です。

大きな夢をもち、自分を信じて、あわてず焦らず一歩ずつ前に進んでください。明るい未来が皆さんの前に大きく広がっているはずです。

卒業生の皆さんの前途が幸多いことを祈り、校長式辞といたします。

169番目の卒業生島本蘭さん。今日は蘭さんと一緒に168名が花小金井南中学校を卒業します。新たな進路に向かって一歩を踏み出す仲間たちを応援してください。蘭さんと共に過ごした時間をそして笑顔を私たちは忘れません。

令和5年3月17日  
小平市立花小金井南中学校  
校長 堀井 賢治